

趣味の広場

ふるさと (吉野・黒滝村)

二十回生 井出 敏

(藤川)

大戦中、宇童縁故疎開で一年暮らした母の実家を訪ねた時のものです。

新設のトンネル車で通り抜け思い出多き峠を見上ぐ (地蔵峠)

喘ぎつつ木炭バスが雪深き坂のぼる音今も忘れず

摺鉢の底のさまなす山里に雷鳴ひびき夕立のくる

木洩れ日のとどく岩間のゆるやかな流れに稚鮎むれつつ泳ぐ

疎開にてひととせ通いし宇び舎の校庭(にわ)の鬼灯(ほおずき) 赤く熟しぬ

葉打石いまだ残りぬ農具小屋「わら草履編み」の手順思えり

孫われを見送る祖母が長々と手を振りくれしかの門に佇つ